

「第3期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略（仮称）（素案）」に関する 提出意見及び県の考え方

1 意見募集期間

令和5年12月14日（木曜日）から令和6年1月15日（月曜日）

2 意見募集結果

（1）意見件数

57件（56人）

（2）意見区分

区分		延べ件数
基本目標1	神奈川の成長力を生かして魅力的なしごとを産み出し、一人ひとりが生き生きと働ける社会を創る	6件
基本目標2	国内外から神奈川への新しいひとの流れをつくる	12件
基本目標3	若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえ、神奈川の未来を担う子どもたちを育てる	9件
基本目標4	活力と魅力あふれる持続可能なまちづくり・誰もが活躍できる地域社会づくりを進める	11件
その他（質問・感想等）		19件
合 計		57件

（3）反映区分

区分		延べ件数
1	反映した意見	22件
2	総合戦略に記載はないが、既に取り組んでいる施策等に関する意見	4件
3	今後の施策展開の参考とする意見	16件
4	反映しない意見	0件
5	その他（質問・感想等）	15件
合 計		57件

注1 ご意見の内容について、対応した局名を「関連局」に記載しています。

注2 意見要旨については、原則として頂いた文言を記載していますが、一部字句の変更、表現の調整、表現の割愛等を行っているものがあります。

No	意見区分	意見要旨	反映区分	県の考え方	関連局
1	基本目標 1	基本目標 1 が「『しごと』をつくる」ことを目指しているのであれば、数値目標に、「就業者数」を加えるべきではないでしょうか。県でも「労働力調査」を実施しており、数値は把握しているのではないかと思います。	3	数値目標については、「総合戦略」の「基本目標 1 神奈川の成長力を生かして魅力的なしごとを産み出し、一人ひとりが生き生きと働ける社会を創る」の「魅力的なしごとを産み出す」「生き生きと働ける社会を創る」に対応した目標としています。 なお、「完全失業率《暦年》」の算出に当たっては、「就業者数」を数値として用いています。	産業労働局
2	基本目標 1	未病産業の創出、育成とありますが、昨今、高齢社会を迎え、健康関連製品が増えていますが、中には疑似科学による怪しい製品が増えていきます。県はこうした製品を取り締まり、本当に安心できる製品を創出するべきではないでしょうか。	2	県では、健全な未病産業の創出・育成を行う観点から、未病関連商品・サービスのうち、一定の安全性・信頼性が確認できる優れたものを県が認定する「ME-BYO BRAND」制度の運用や、未病産業のエビデンス構築に資する実証事業の実施支援・評価を行う「神奈川ME-BYOリビングラボ」等を行っています。引き続き、県民の皆様がより安心して未病改善に取り組める環境づくりに努めてまいります。	政策局
3	基本目標 1	人材不足が叫ばれる昨今、ロボットの開発などをこれまで以上に推進し、人材不足の解消につなげてほしいと思います。	1	ご意見のうち、ロボットの社会実装については、「総合戦略」の「基本目標 1 ・（1）成長産業の創出・育成、産業の集積」に位置付けて取り組んでいきます。	産業労働局
4	基本目標 1	県内中小企業・小規模企業の活性化とありますが、既存のビジネスモデルしかもたない中小企業は淘汰されるべきではないでしょうか。県として活性化すべき対象は、今後成長が見込める分野に限定すべきではないでしょうか。	3	いただいたご意見については、今後の政策運営の参考とします。	産業労働局
5	基本目標 1	神奈川県でも、就職氷河期世代の就労支援を行なっていると思いますが、就職氷河期世代の就業率（正規雇用）についてもKPIに加えるべきではないでしょうか。	3	39歳以下が対象のかながわ若者就職支援センター及び40歳以上が対象のシニア・ジョブスタイル・かながわでは、就職氷河期世代への就労支援も行っていますので、設定しているKPIの「県就業支援施設でキャリアカウンセリングを利用した者の就職等進路決定率（かながわ若者就職支援センター及びシニア・ジョブスタイル・かながわ）」には、就職氷河期世代の方も含まれています。なお、「就職氷河期世代の就業率（正規雇用）」を単独のKPIに加えることについては、今後の参考とします。	産業労働局

No	意見区分	意見要旨	反映区分	県の考え方	関連局
6	基本目標 1	農林水産業の活性化のためには、新たな担い手を確保することが必要であると思います。農地については、新規就農のハードルが高いと思いますが、愛川町で実施している「準農家制度」のような制度を全県で実施すべきではないでしょうか。	2	多様な担い手として、かながわホームファーマー事業等により、荒廃農地等を県が復旧・確保し、県民の力をマッチングさせた制度を実施しています。	環境農政局
7	基本目標 2	基本目標 2 の数値目標「人口が転入超過の市町村数」について、目標が現状と変わらないのはおかしいのではないのでしょうか。「新たな『ひと』の流れを作る」のが目標なのだから、現状より増えなくてはいけないのではないのでしょうか。人口が社会減の市町村は、社会減のままでもいいのでしょうか。	3	県全体の人口が減少局面を迎えている中で、まずは社会減の市町村が増加しないことを目標にしたうえで、社会増の市町村が増加するための施策も取り組みます。	政策局
8	基本目標 2	昨今の鎌倉は観光客であふれかえっていて、明かにキャパシティオーバーで。食べ歩きでゴミが散らかる、汚れるで景観を損ねています。また、湘南シラスの店がやたらと増えたが、ここ数年不漁が続いていると聞ききますが、明かに乱獲なのではないのでしょうか。現在の観光振興は持続可能なのか、長期的に街の発展に寄与するのか疑問です。オーバーツーリズムについても取組に加えるべきと思います。	1	オーバーツーリズムについては、「総合戦略」の「基本目標 2・(1) 観光の振興」に位置付けて取り組んでいきます。また、シラスについては、県の研究機関等で資源調査を実施しながら、引き続き漁業の適切な管理に取り組んでいきます。	国際文化観光局 環境農政局
9	基本目標 2	神奈川県には横浜や武蔵小杉以外にも良いところがたくさんあるのだから、特定の地域に偏ることなく魅力向上に取り組むべきです。特に県西部や三浦半島についてはしっかりと取り組むべきではないのでしょうか。	1	県西部（県西地域）や三浦半島の魅力を高める取組については、「総合戦略」の「基本目標 2・(2) 地域資源を活用した魅力づくり」に位置付けて取り組んでいきます。	政策局
10	基本目標 2	今後の人口減を見据え、魅力ある地域づくりに今から取り組んで欲しいです。	1	魅力ある地域づくりについては、「総合戦略」の「基本目標 2・(2) 地域資源を活用した魅力づくり」に位置付けて取り組んでいきます。	政策局
11	基本目標 2	コロナ後の観光客を捕まえ、県西地域に移住してもらえよう、現地で移住の案内をするべきではないのでしょうか。	1	県西地域の現地での移住の案内については、「総合戦略」の「基本目標 2・(2) 地域資源を活用した魅力づくり」に位置付けて取り組んでいきます。	政策局
12	基本目標 2	主な取組として、「未病パレー『ピオトピア』などの拠点を活用した未病改善の実践の促進」とありますが、この取組で「ひと」の流れができるのでしょうか。まず、拠点であるピオトピアが、車を所有していないととても行く気になりません。	1	新たな「ひと」の流れをつくることのうち県西地域の移住手段については、小型電気自動車や電動キックボードなどの脱炭素モビリティの導入支援を行うこととして、「総合戦略」の「基本目標 2・(2) 地域資源を活用した魅力づくり」に位置付けて取り組んでいきます。	政策局

No	意見区分	意見要旨	反映区分	県の考え方	関連局
13	基本目標 2	「KPI水源地域の入込観光客数」がKPIとなっていますが、水源地域は、森林の保全が最優先事項ではないのでしょうか。 森林を守る担い手を確保するために、一定の地域の活性化は必要というの は理解できますが、行き過ぎた観光客の誘致は、水源環境を破壊しかねない のではないのでしょうか。	3	いただいたご意見については、今後の水源地域活性化の取組の参考としま す。	政策局
14	基本目標 2	最近、近所でも空き家が目立っています。空き家は、防犯上好ましくなく 、景観も損ねます。こうした空き家を移住希望者に貸し出すことで、地 域全体の活性化を図れるのではないのでしょうか。	2	県では移住に関して、空き家の利活用など、市町村それぞれの課題に対 し、専門的な見地から適切にアドバイスが行えるよう、民間の専門人材を 市町村に派遣しています。	政策局
15	基本目標 2	山登りやサーフィンなど、東京から定期的に神奈川を訪れる人も多いの で、そういった人にいっそ移住してもらって、東京へはたまにいくくらい のライフスタイルを案内すれば、移住したいと思っている人も移住後のイ メージができて、移住に踏み切れるのではないかと思います。 神奈川といえば横浜とか鎌倉、藤沢、茅ヶ崎のイメージがありますが、そ れ以外にもとてもいいところが多いので、そういうところのよさを知って 移住した人を紹介してもらいたいと思います。	1	県内各地の良さを知って移住した人の紹介は、「総合戦略」の「基本目標 2・（3）移住・定住の促進」に位置付けて取り組んでいます。	政策局
16	基本目標 2	地方から出てくる学生が、神奈川県に住むような仕組みを作れば、神奈川 県の人口が増えるのではないのでしょうか。	3	県内の学校に進学した学生が県内に住むような仕組みについては、移住促 進の取組の今後の政策運営の参考とします。	政策局
17	基本目標 2	都民がどうやったら神奈川県に移住するのか、本気で考えなければならな いと思います。ベッドタウンとしては良いと思います。	1	都心居住者の県内への移住に向けた取組は、「総合戦略」の「基本目標 2・（3）移住・定住の促進」に位置付けて取り組んでいます。	政策局
18	基本目標 2	「観光や地域活性化の取組により生まれたひとの流れをとらえ、人を呼び 込み住む人と人とのつながりを創出」とありますが、「①移住の促進」の 主な取組を見る限り、既に住んでいる住民と観光客をどのようにつなげる のかが全く読みとれません。	5	「総合戦略」の「基本目標2・（3）移住・定住の促進・①移住の促進」 の説明文にも記載しておりますが、人を呼び込むにあたって、地域の方と 交流する機会があるイベント情報を発信することにより、既に住んでいる 住民との関係を構築していくことをめざしています。	政策局
19	基本目標 3	結婚、出産の支援の記載がありますが、結婚したら必ず出産とは限らない ので、子どもを作ることができない体の人や、子どもを作らない可能性が ある方の結婚も支援してください。	1	出産の可能性の有無に関わらない結婚支援については、「総合戦略」の 「基本目標3・（1）①若い世代の経済的安定と結婚の希望をかなえる環 境づくり」に位置づけて取り組んでいきます。	福祉子どもみらい局

No	意見区分	意見要旨	反映区分	県の考え方	関連局
20	基本目標3	基本目標3の「希望出生率の実現」とありますが、2027年度までに合計特殊出生率が0.25ポイントも上昇するのでしょうか。総合戦略（素案）の内容を見る限りでは、とてもそこまで「異次元」の施策が盛り込まれているとは思えません。この目標を達成するためには、さらなる施策が必要なのではないでしょうか。	5	「希望出生率」は、県民の産みたいという希望が実現した場合に達成できるとされるものとなっています。総合戦略において、子どもを産みたいという希望がかなえられるよう、取組を進めていきます。	政策局
21	基本目標3	結婚を希望する若者に対する支援の取組はありますが、そもそも、若者が結婚を希望するように仕向ける取組が必要なのではないでしょうか。	1	若者が結婚を希望するような取組については、「総合戦略」の「基本目標3・（1）①若い世代の経済的安定と結婚の希望をかなえる環境づくり」に位置づけて取り組んでいきます。	福祉子どもみらい局
22	基本目標3	地方創生を進めるためには、人口減少対策が必要です。特に若い世代は、子育てに不安を抱えていると思います。子どもが生まれたら、保育園、学校など色々考えなければならない中で、少子化対策のキモは、子育て支援だと思っていますので、しっかりと対策してほしいと思います。	1	子育て支援については、「総合戦略」の「基本目標3・（2）育児の支援」に位置付けて取り組んでいきます。	福祉子どもみらい局
23	基本目標3	小児医療助成制度は、自治体によって異なっているが、各自治体の財政力によるところが大きいと思います。東京23区は高校生以下が無料化となっていますが、神奈川県内は、真鶴町や湯河原町、三浦市など規模の小さな自治体はもちろん、横浜市・川崎市ですら中学生までとなっています。こうした差異をなくすため、県として市町村を支援することが、地方創生の第一歩なのではないでしょうか。	3	安心して子どもを生み育てることができる環境は重要であり、ご意見については、育児の支援の取組の今後の政策運営の参考とします。	福祉子どもみらい局
24	基本目標3	困難を抱える子どもへの支援が行政の役割だと思いますので、取組を強化してほしいと思います。	1	困難を抱える子どもへの支援については、「総合戦略」の「基本目標3・（2）育児の支援」に位置付けて取り組んでいきます。	福祉子どもみらい局
25	基本目標3	東京都のような私立高校無償化を検討すべきではないでしょうか。	3	私立高校の無償化については、高校生等への就学支援の充実の取組の今後の政策運営の参考とします。	福祉子どもみらい局
26	基本目標3	教育は、将来、神奈川県を支えてくれる世代への支援として重要だと思います。その点、地方創生に教育が位置付けられたことは、とてもいいことだと思います。世界に羽ばたいていけるような人材が、また、神奈川県に戻ってきてくれれば、もっと素敵な神奈川県になると思います。	1	世界に羽ばたいていけるような、グローバル人材を育成することについては、「総合戦略」の「基本目標3・（3）①将来を支える人材の育成」に位置付けて取り組んでいきます。	教育局

No	意見区分	意見要旨	反映区分	県の考え方	関連局
27	基本目標 3	少子化により子ども全体が減っている中、通信制高校に通う生徒が増えています。文部科学省が実施した学校基本調査では、平成27年度は180,393人であったものが、令和2年度は206,948人となっています。通う学校の選択肢が増えること自体は否定しませんが、将来的に就職することを考えると、社会との接点を持つことが重要ではないでしょうか。私立の通信制高校が増える中、公的機関が、ボランティア活動や就労体験などの機会を設ける必要があるのではないのでしょうか。	1	県立高校（通信制含む）の生徒が将来的に就職することを見据えて社会との接点を持つことについては、「総合戦略」の「基本目標3・（3）①将来を支える人材の育成」に位置付けて取り組んでいきます。また、県立学校・私立学校を含めた高校生等が社会との接点を持つことについて、「総合戦略」には記載していませんが、現在取組中の仕事の学び場事業で実施しています。	福祉子どもみらい局 教育局
28	基本目標 4	基本目標4の数値目標「『通勤・通学・買物など日常生活のための交通の便がよいこと』に関する満足度」について、県民ニーズ調査の結果を目標としていますが、そもそも、交通の便をどこまでよくする必要があるのか明確ではありません。例えば、東京都ほどの地下鉄網を整備すれば、満足度は上がるのか、それは誰にもわからないのではないのでしょうか。県民の平均通勤時間など、指標が明確なものを数値目標にすべきではないのでしょうか。	3	数値目標は、基本目標ごとに政策の達成度合いを検証するために設定する指標であり、総合的に政策を評価できるよう本指標を設定しておりますが、ご意見の趣旨は、今後の参考とさせていただきます。	県土整備局
29	基本目標 4	健康長寿の延伸のためには、検診の受診率向上が基本です。特に自営業者などの特定健診の受診率向上に向けた取組を進めるべきだと思います。	2	特定健診の受診率向上に向けた取組については、「総合戦略」には記載していませんが、現在、自営業者の加入者が多い市町村国民健康保険被保険者向けも含め、普及・啓発等の受診率向上の取組みを実施しています。	健康医療局
30	基本目標 4	コロナになってから、家、施設から外出できない、もしくは、外出をためらう人が増えているので、老人が外に出やすくする施策が必要です。十分に注意して、若い人が訪れてくれるようにすることも必要だと思います。	1	高齢者が外に出やすくする施策については、「総合戦略」の「基本目標4・（1）いつまでも活躍できるまちづくり」に位置付けて取り組んでいきます。	福祉子どもみらい局
31	基本目標 4	少子高齢化が進む中、介護分野において、人材不足に陥ることが目に見えています。人材の確保をこれまで以上に推進してほしいです。	3	介護人材の確保については、これまでも様々な取組を実施しておりますが、さらなる確保に向け今後の政策運営の参考とします。	福祉子どもみらい局
32	基本目標 4	高齢になってから新しいスポーツに取り組むことはハードルが高いと思います。これまで、スポーツをしたことがない高齢者も参加しやすい機会づくりを進めるとともに、小・中・高校生のうちにスポーツに親しむ環境づくりが必要です。	1	ライフステージに応じたスポーツ活動の機会提供や充実及び小・中・高校生のうちにスポーツに親しむ環境づくりについては、「総合戦略」の「基本目標4・（1）いつまでも活躍できるまちづくり」に位置付けて取り組んでいきます。	スポーツ局 教育局

No	意見区分	意見要旨	反映区分	県の考え方	関連局
33	基本目標 4	内閣府の調査によると、全国で146万人が「引きこもり」の状態とのことです。これらの方々に、自分で「できること」から社会に参加してもらえよう取組が重要です。	1	ひきこもりの社会参加支援については、「総合戦略」の「基本目標 4・(2)①悩みを抱える方へ寄り添うまちづくり」に位置づけて取り組んでいきます。	福祉子どもみらい局
34	基本目標 4	今の若い世代は、男女という区別もあまり関係なくなっているようなので、男女共同参画ということよりも、男も女も若い人もお年寄りも、誰もが輝いて活躍するという視点が大事だと思います。	1	誰もが輝いて活躍するという視点については、「総合戦略」の「基本目標 4 ねらい」及び「施策の基本的方向」に位置づけて取り組んでいきます。	福祉子どもみらい局
35	基本目標 4	県は共生社会と常々言っているのですから、障がいをもつ人が生きていきやすい社会を作っていくことは当然のことであると思います。取組が列挙されていますが、しっかりとそれを実行に移してください。それが地方創生を進めるうえの大前提のはずです。	3	ご意見については、取組の今後の政策運営の参考とします。	福祉子どもみらい局
36	基本目標 4	少子化が進み、短期的には働き手が不足する中で、移民の受け入れも本気で考えなければいけない時代が来ていると痛感しています。県としても、移民受け入れに向けた準備を進めるべきではないでしょうか。	3	移民受け入れに係るご意見については、今後の政策運営の参考とします。	国際文化観光局
37	基本目標 4	脱炭素社会の実現は、地方創生という枠を飛び越えて、地球全体の問題として、取り組むべき課題だと思います。平塚市では波力発電の取組を進めています。神奈川県として、全国を引っ張る取り組みを推進してほしいと思います。	3	脱炭素社会の実現に向けて、ご意見については、今後の参考とさせていただきます。	環境農政局
38	基本目標 4	買い物にも困っていますので、ライドシェアの取り組みを全県に広げてほしい。	3	地域事情に応じた移動手段の確保は重要であり、ご意見については今後の参考とさせていただきます。	政策局 県土整備局
39	その他	「新型インフルエンザ、新型コロナウイルスなどの感染症の拡大予防の呼びかけを強く進めながら戦略を進める」といったことを記載してください。感染症が拡大したら、仕事、出産、育児、受験、学校行事などに影響があります。総合戦略の各取組を進める上で、感染症の拡大予防の呼びかけは必須だと思います。。	5	本総合戦略は人口減少社会への対応をまとめた計画となっています。感染症対策の観点は必要ですが、感染症以外にも「健康長寿のまちづくり」という小柱を設定し、健康・医療分野の取組を位置付けています。	政策局

No	意見区分	意見要旨	反映区分	県の考え方	関連局
40	その他	まち・ひと・しごと総合戦略も、仮称となっていますが、どのような名前を考えているのでしょうか。国の名前を踏まえて、「デジタル田園都市国家構想」とすることは望ましいとは思えません。	5	有識者会議、県議会の意見を踏まえながら、本県の地方創生の取組にふさわしい名称として、「第3期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略」としました。	政策局
41	その他	デジタル田園都市国家構想というものが打ち出されていますが、これに合わせた総合戦略の策定・改正をする必要はあるのでしょうか。	5	「第3期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、まち・ひと・しごと創生法に規定する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」であり、同法第9条第1項において、都道府県は国の総合戦略を勘案して策定に努めなければならない、とされています。	政策局
42	その他	国のデジタル田園都市国家構想総合戦略を踏まえた改訂とのことですが、デジタル改革にかかる取り組みの掲載が少ないのではないのでしょうか。デジタルメインの内容にするべきではないのかと思います。	5	総合戦略に位置付ける施策すべてに、デジタル化の推進が求められている訳ではありません。また、国の総合戦略においても、これまでの地方創生の取組についても、改善を加えながら推進するとしています。 そこで、「第3期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略」においては、デジタル活用は、地方創生の取組を進めるための手段と捉え、デジタルを活用する取組について「本県の地方創生におけるデジタル活用の方向性」にまとめて記載しています。	政策局
43	その他	「人口減少に歯止めをかける」とあるが、もはや我が国全体として人口減少が避けられない中、人口戦略会議では、2100年に8000万人規模の人口を目指すとされています。県でも、人口減少を前提とした目標を設定するべきではないのでしょうか。	5	神奈川県人口ビジョンにおいても、人口減少を前提としており、それに応じた目標を設定しています。	政策局
44	その他	神奈川県も、だんだんと人口が減っていくことがわかりました。しっかりと取り組んでもらいたいと思います。そのためには、子育てや働く場づくりなど色々進めてほしいです。	1	子育てや若者の経済的な安定については「基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえ、神奈川の未来を担う子どもたちを育てる」、働く場づくりについては「基本目標1 神奈川の成長力を生かして魅力的なしごとを産み出し、一人ひとりが生き生きと働ける社会を創る」を中心に様々な取組を位置付け取り組んでまいります。	政策局
45	その他	進捗管理は大変だと思いますが、小柱ごとに複数のKPIを設定しているのはいいことだと思います。	5	「第5章 推進体制」でも記載しておりますが、PDCAによるマネジメントサイクルを構築し、取組を進めていきます。	政策局

No	意見区分	意見要旨	反映区分	県の考え方	関連局
46	その他	総合計画を補完する計画というよりは、総合計画の「一部」のように思います。	5	「総合戦略」は、「新かながわグランドデザイン」を補完する個別計画・指針であることから、両計画でめざす方向性や取り組む施策の整合を図る必要があります。そこで、総合戦略で掲げる「県がめざす理想像」は、「新かながわグランドデザイン基本構想」の「神奈川の将来像」を抽出して設定し、各基本目標に位置付ける施策は、「新かながわグランドデザイン実施計画」の各プロジェクト等から人口減少社会や超高齢社会への対応の施策を抽出し設定することとします。	政策局
47	その他	コロナ以降、オンライン会議やオンラインイベントが普通になってきているので、新たにデジタル活用の方向性が記載されたことは、地域創生について、大変いいことだと思います。デジタル技術を使ってというより、デジタル技術があればこそ色々なことができるので、今後ますますデジタル技術が進めばさらに便利な世の中になると思います。一層色々なことに取り組んでもらいたいと思います。 一方で、人と人が実際に会うことも、もっと重要になると思うので、これまで以上にそういった取組を続けてもらいたいです。	1	デジタルの活用に関しては、「総合戦略」の「第4章2 本県の地方創生におけるデジタル活用の方向性」でまとめ、取り組んでいきます。	政策局
48	その他	「人口減少に歯止めをかける」ことは少子高齢化社会において本当に大事なことだと思いますが、中々効果的な施策が無いまま月日が流れていっていると思います。行政だけではなく、社会全体で取り組むべき問題だと思います。	5	県民や企業、団体、市町村、隣接都県など様々な主体と連携することによって相乗効果を生み出し、人口減少と超高齢社会を力強く乗り越えていく取組を推進します。	政策局
49	その他	地方創生という考え方に限界があるのではないのでしょうか。医療、介護等の人的インフラ、公共施設の物的インフラの観点からも、住民は都市に移住させ、一極集中させるべきではないのでしょうか。	5	まち・ひと・しごと創生法においては、東京圏への人口の過渡の集中を是正し、それぞれの地域で住みよい環境を確保して、将来にわたって活力ある日本社会を維持していくことが目的の一つとして掲げられています。	政策局
50	その他	東京都は、私立高校の授業料の実質無償化を打ち出しました。これでは、ますます東京への一極集中につながりかねないと思います。こうした施策を東京都が実施できるのは、現在の税制度が、実質的に東京都に税収が集まる構造となっていることからできることでもあります。地方創生を進めるためには、現在の税制度の構造を変えるべきであり、こうしたことも総合戦略に盛り込むべきです。	3	いただいたご意見については、地方税財政制度の改革のほか、東京一極集中の是正に関する様々な内容を国に対して求めていくにあたり、参考とします。	政策局 総務局

No	意見区分	意見要旨	反映区分	県の考え方	関連局
51	その他	総合戦略を策定し、交付金や企業版ふるさと納税を活用する、とのことですが、企業版ふるさと納税活用事業は少なすぎるのではないのでしょうか。これで地方創生が実現できるのでしょうか。	3	企業版ふるさと納税は、寄附を受ける自治体はもとより、寄附をする企業にとっても、社会貢献などの観点から大変有効な制度です。今後、企業版ふるさと納税による寄附を幅広い施策に活用することで、地方創生の取組をさらに強力に、よりスピード感をもって進めてまいります。	政策局
52	その他	グランドデザインを抽出したものなら、策定する必要があるのでしょうか。グランドデザインだけあればいいのではないのでしょうか。	5	「第3期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、まち・ひと・しごと創生法に規定する「まち・ひと・しごと創生総合戦略」であり、同法第9条第1項において、都道府県は策定に努めなければならない、とされています。	政策局
53	その他	当面の間、少子高齢化の流れは止められないと思います。今後、働き手の不足は、国家の衰退を招くと思います。例えば、日本航空と海上保安庁の事故など、これまでは、あり得ないことです。総合戦略の内容を見ると、とても少子高齢化の流れを止めるような内容ではないと思います。もっと、抜本的な対策を行うべきではないのでしょうか。	5	いただいたご意見については、今後の総合戦略全体の推進の参考とさせていただきます。また、総合戦略の取組については、毎年度評価を行い、改善を図る中で、必要な見直しを行ってまいります。	政策局
54	その他	第2期のまち・ひと・しごと創生総合戦略に比べると、位置付けている施策は増えているにも関わらず、設定しているKPIは減っています。これでは、施策の効果をしっかりと測れないのではないのでしょうか。	5	「総合戦略」の施策は「新かながわグランドデザイン」から施策を抽出して設定しており、新かながわグランドデザインで設定しているKPIと整合を図っており、施策の効果を適切に測れるものとなっています。	政策局
55	その他	今回のまち・ひと・しごと創生総合戦略は、「グランドデザインから施策を抽出したもの」であるにもかかわらず、グランドデザインより早くパブリックコメントを実施しているのはおかしいのではないのでしょうか。今回実施しているパブコメ案は、きちんとグランドデザインを網羅的に抽出できているのでしょうか。	1	パブリックコメントの開始時期は、内部手続きにより前後しましたが、内容については、「新かながわグランドデザイン実施計画」から抽出しています。概要については、「第3期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略」の「第1章3 新かながわグランドデザインと総合戦略との関係」に記載しています。	政策局
56	その他	全般的に実績値（現状）に比べて2027目標値が高い印象を受けます。例えば、黒字企業の割合、社会増減数、希望出生率の実現、温室効果ガス排出量の削減割合など、目標値を達成できる勝算があるなら、どのように目標を達成するのか聞いてみたいと思います。	5	数値目標の設定の考え方については、附属資料の「数値目標・KPI一覧表」に記載しています。	政策局

No	意見区分	意見要旨	反映区分	県の考え方	関連局
57	その他	基本目標3に教育に関する取組が加わったのは良いことだと思います。必要な取組だと思います。	1	ご意見の趣旨は、「基本目標3・(3)柔軟で自立した人材の育成」に位置付けて取り組んでいきます。	政策局